

テクマトリックス Redmine クラウドサービス データ移行およびバージョンアップサービス

本書は、テクマトリックス Redmine クラウドサービス（以下、本クラウドサービス）のデータ移行およびバージョンアップサービス（以下、本サービス）の内容について記載したものです。

1. データ移行サービスについて

- 既に運用中の Redmine(Redmica) および Lychee Redmine をオンプレミスまたはクラウドへ移行するためのサービスです。
- データ移行サービスは以下の3通りの移行があります。それぞれで移行手順が異なります。

#	移行元	移行先
(A)	オンプレミスのRedmine	テクマトリックスRedmineクラウドサービス
(B)	テクマトリックスRedmineクラウドサービス	オンプレミスのRedmine
(C)	他社のRedmineクラウドサービス	テクマトリックスRedmineクラウドサービス

1-1. 注意事項

本サービスをご利用になる場合の注意事項は以下の通りです。

- 複数の環境を1つの環境へ統合することはできません。環境が2つ以上あり、その複数のデータを1つの本クラウドサービスへ移行する(データをマージする)ことはできません。
- サードパーティ製プラグインを継続利用される場合は以下をご確認ください。
 - Lychee Redmine以外の商用プラグインの利用を希望される場合、本クラウドサービス（第3者の環境）で利用しても問題ないかを事前に利用規約の確認をお願いします。
 - 本クラウドサービスで稼働しているRedmineのバージョンにて動作するプラグインのみ継続してご利用になれます。弊社指定のRedmineバージョンにてプラグインが動作することをお客さまにてご確認ください。
 - 移行後に利用しないLychee Redmineのプラグインおよびサードパーティ製プラグインがある場合、対象のプラグインのアンインストール後にデータ提供をお願いすることがあります。
 - お客さまが独自で作成したプラグイン、またはサードパーティ製プラグインにお客さま独自の変更を加えているプラグインはご利用になれません。

2. (A) 「オンプレミスのRedmine」から「テクマトリックス Redmine クラウドサービス」へ移行

2-1. サービスの利用が可能な移行元

- 本クラウドサービスへの移行が可能な移行元は以下の通りです。
 - オンプレミスで稼働している RedmineおよびLychee Redmine

2-2. 移行ができないケース

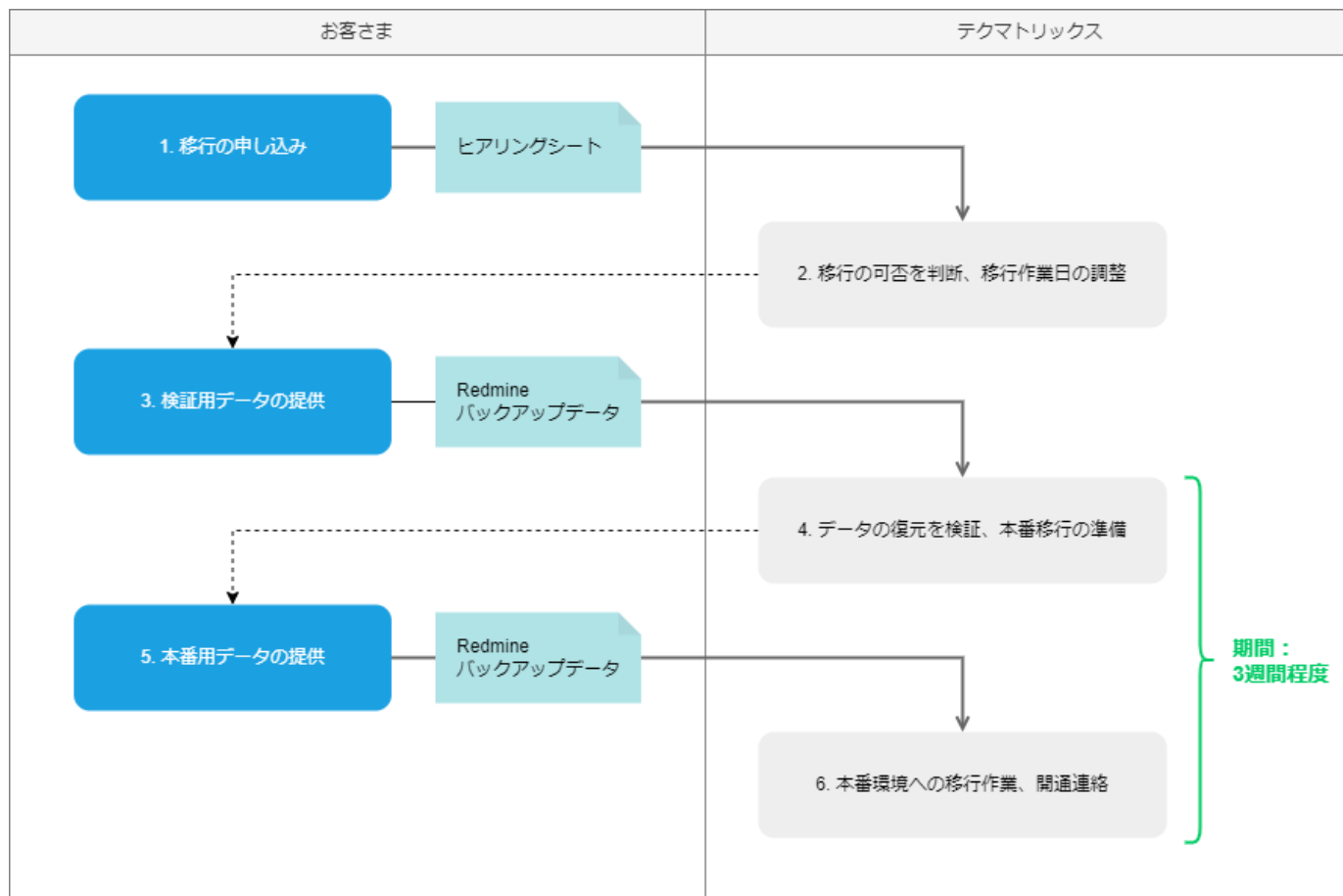
- 移行元の Redmine の状況によっては移行ができない場合があります。以下に例を記載します。
 - 利用中のRedmineのバージョンが本クラウドサービスのRedmineのバージョンよりも古く、かつバージョンアップが行えない。
 - 利用中のRedmineのバージョンが本クラウドサービスのRedmineのバージョンよりも新しく、かつダウングレードが行えない。
 - 利用中のRedmine自体やデータベースに独自の実装（カスタマイズ）を加えており、Redmine クラウドの環境で動作しない。

2-3. 注意事項

- 移行費用
 - ご利用の環境により値段が変動します。
 - 本サービスの費用に影響のある内容は以下の通りです。
 - お客さまがPostgreSQL以外のデータベースを利用していた場合、データベースファイルの変換が必要になります。
 - 現在のRedmine上のプロジェクト数など、データベースのデータ量によって、作業や復元にかかる時間が変動します。
 - 物理ファイルのサイズにより、データのコピーや配置にかかる時間が変動します。
 - ご利用中のRedmine(Redmica)のバージョンがRedmine クラウドのバージョンより古い場合、Redmineのバージョンアップの作業を実施します。※別途バージョンアップ費用が必要です。
 - 任意プラグイン導入オプションにて、サードパーティ製プラグインを利用する場合、プラグインを導入する作業が発生します。
 - 移行作業を深夜または休日に実施する場合、移行費用が割増しとなります。

- バックアップデータは2度提供いただく必要があります。
 - 移行の可否の判断や移行作業の内容を確定するために、申し込み時点で検証用にバックアップデータの提供を依頼いたします。
 - 上記とは別に、本番環境へ移行するバックアップデータの提供を依頼いたします。
- オンプレミス環境で利用していたRedmineプラグインをクラウド移行後は利用しない場合
 - バックアップファイルを取得する前に該当のプラグインを削除、データベースの更新（スキーマの削除）を実施ください。
 - 不要なデータがバックアップデータに含まれていた場合、移行後に何らかの問題が発生する原因となる恐れがあります。
- 事前の閲覧が必要な文書
 - テクマトリックス Redmine クラウドサービス利用規約、および Redmine クラウドサービス仕様
 - 本クラウドサービスや本サービスの内容、メンテナンスについて記載があります。
 - 移行作業を申し込まれる前に内容を確認ください。

2-4. 移行の流れ



1. (お客さま) 移行の申し込み・問い合わせ

- データ移行サービスの[ヒアリングシート](#)に必要事項を記入した後、弊社営業担当またはテクニカルサポートまでご連絡ください。
- ヒアリングシートは、移行の可否や本サービスの費用のお見積り、作業日程の調整のために必要となります。

2. (弊社) 移行の可否を判断、移行作業日の調整

- ご提供いただいた情報から移行の可否を調査し、移行の内容や費用をご連絡いたします。
- また、移行が可能な場合、検証や本番移行の日程をご相談の上、決定いたします。
 - Redmineのバージョンアップやデータベースファイルの復元が必要な場合、検証を終えてから本番環境の移行作業日を決定することがあります。あらかじめご了承ください。

3. (お客さま) 検証用データの提供

- 弊社が利用可能な Redmine の管理者アカウントをあらかじめ追加した上でバックアップデータを取得ください。
 - 弊社エンジニアが移行作業後にデータ移行の状態を確認するために Redmine にログインして状態を確認します。
- データの提供方法

- 専用のファイルアップロード用のURLやアカウントをお伝えいたします。
- 以下のデータをご用意ください。
 - Redmine のデータベースのダンプファイル
 - Redmineで利用しているデータベースのダンプファイルをzipファイル等に圧縮したもの
 - 物理ファイル（添付ファイル）
 - Redmine のインストールディレクトリ直下のfilesディレクトリをzipファイル等に圧縮したもの
 - filesディレクトリが空の場合、保存ディレクトリが変更されている場合がありますので、config/configuration.yml ファイル内の attachments_storage_path の設定を確認ください。
 - Redmineのプラグインファイル
 - Redmine のインストールディレクトリ直下のpluginsディレクトリをzipファイル等に圧縮したもの
 - ご利用中のRedmineのプラグインに関連するデータを削除するために必要となる場合があります。

4. (弊社) データの復元の検証、本番移行の準備

- 受領した検証用データを用いて、復元が正常に行えることを確認します。
- Redmine自体のバージョンアップやデータベースファイルの変換が必要な場合、このタイミングで実施いたします。

5. (お客さま) 本番用データの提供

- 「3. (お客さま) 検証用データの提供」と同様に、本番移行にて利用するデータを提供ください。
 - 提供の期限までにデータを提供いただけない場合、本番環境の移行がお約束したスケジュールで実施できなくなる恐れがあります。

6. (弊社) 本番環境への移行作業、開通連絡

- 受領した本番用データを弊社クラウド環境に復元いたします。
- 移行作業が終わり利用が可能な状態となったのちに開通連絡をお送りいたします。

3. (B) 「テクマトリックス Redmine クラウドサービス」から「オンプレミスのRedmine」へ移行

3-1. サービスの利用が可能な移行元

- オンプレミスのRedmineへの移行が可能な移行元は以下の通りです。
 - テクマトリックス Redmine クラウドサービスで稼働しているRedmineおよびLychee Redmine

3-2. 移行ができないケース

- 特にありません。

3-3. 注意事項

- オンプレミスのRedmineへの移行作業
 - 本クラウドサービスで利用していたRedmineと同じバージョンがインストールされた環境をご用意ください。
 - 継続して利用するLychee Redmineやサードパーティ製プラグインもあらかじめインストールください。
 - 弊社から本クラウドサービスのバックアップデータ（データベースファイルと物理ファイル）をお渡します。
 - 本クラウドサービスのRedmineのデータベースはPostgreSQLを利用しており、データベースファイルはPostgreSQLのダンプファイルとなります。
 - 他のデータベースをご利用になる場合は、データベースファイルの変換を実施ください。
 - その後、お客さまにてRedmineやLychee Redmineのインストールやセットアップ、バックアップデータの復元を実施ください。
- オンプレミスのRedmineへの移行費用
 - ご希望の環境により値段が変動します。
 - 本サービス費用に影響のある内容は以下の通りです。
 - 本クラウドサービスで利用していたLychee Redmineおよびサードパーティ製のプラグインをオンプレミスに移行後に使用をやめる場合、アンインストールやデータベースの変更作業が必要となります。
 - 任意プラグイン導入をご利用いただいているお客様の場合のみ、費用が割り増しとなります。
 - 平日深夜、または休日での作業をご希望される場合は、費用が割り増しとなります。
- オンプレミスのRedmine環境に関するお問い合わせ
 - Lychee Redmineをご利用の場合は、Lychee Redmineのインストールや操作についてテクニカルサポートがお問い合わせに回答いたします。※Lychee Redmineの買取ライセンスに付属する保守サポート内容に準じます。
 - Redmine自体やサードパーティ製プラグインに関するお問い合わせは回答できません。ご了承ください。

3-4. 移行の流れ

1. (お客様) 移行の申し込み・問い合わせ

- バックアップデータ取得サービスの[ヒアリングシート](#)に必要事項を記入した後、弊社営業担当またはテクニカルサポートまでご連絡ください。
- ヒアリングシートは、移行の可否や本サービスの費用のお見積り、作業日程の調整のために必要となります。

2. (弊社) バックアップデータ作成の作業見積もり、作業日の調整

- ご提供いただいた情報からバックアップデータ提供の事前作業を検討し、移行の内容や費用をご連絡いたします。
- 移行が可能な場合、バックアップファイルの提供日をご連絡いたします。

3. (弊社) バックアップファイルの提供

- バックアップファイルを準備した後、ファイルを取得可能なURLをご案内いたします。
- お客様にてRedmineやLychee Redmineのインストールやセットアップ、バックアップデータの復元を実施ください。

4. (C) 「他社のRedmineクラウドサービス」から「テクマトリックス Redmine クラウドサービス」へ移行

他社のRedmineクラウドサービスから本クラウドサービスへの移行は、2. (A) 「オンプレミスのRedmine」から「テクマトリックス Redmine クラウドサービス」へ移行と同じ流れです。

移行のために弊社が他社と直接やり取りすることはありません。お客様自身で他社のRedmineクラウドサービスからバックアップファイルや添付ファイルを入手し、弊社へご提供ください。

変更履歴

- 2022-07-05
 - 初版作成
- 2022-07-15
 - ご提供いただく情報に利用人数を追加
- 2022-08-10
 - ご提供いただく情報に利用を停止するプラグインやデータ提供日を追加
- 2022-10-11
 - データ移行の流れの図を追加
- 2023-04-05
 - 本サービスの費用に影響のある内容について、以下を変更
 - データベースの容量について追加
 - 平日深夜・休日対応の費用について追加
 - オンプレミスへの移行のためのヒアリングシートのリンクを追加

以上